令和7年度 美里町 全国学力・学習状況調査

【教科に関する調査結果から】

Environment of the second of t						
	小学校 国語	小学校 算数	小学校 理科	中学校 国語	中学校 数学	中学校 理科
全国平均	66.8 %	58 %	57. 1 %	54.3 %	48.3 %	503
埼玉県平均	68 %	58 %	58 %	55 %	50 %	502
本町平均	71 %	58 %	59 %	51 %	44 %	489

○よい傾向のもの ▲改善の必要があるもの⇒改善案

○よい傾向のもの ▲改善の必要があるもの⇒改善案						
	小学校	中学校				
国語	 ○漢字を文の中で正しく使うことができること ○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができること ▲目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること ⇒文章と図表を結びつけるために必要な情報を探す練習や、要点・要約の書方を身につけるようにする 	○内容を分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書くこと ▲言葉の特徴や使い方:変換した漢字として適切なものを選択すること ⇒導入時の漢字練習と小テスト(週1回)に加え、同音同訓異義語を取り上げて練習する場面を設け、定期テストにも出題し定着状況を見取る				
算数 数学	○棒グラフから、項目間の関係を読み取ること ○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること ▲数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること ⇒分数では、単位分数を使って考え方を説明したり、数直線で1の目盛りを意識したりする学習を行う	○ 1から9までの数の中から素数を全て選ぶこと ○ △ ABC において、内角と外角の性質を利用し、角度の大きさも求めること ▲ 図形の定義を利用し、合同や相似、図形の性質を証明すること ⇒ 説明の仕方を全学年共通のパターンとして指導し、基本的な説明の手順を繰り返し触れる頻度を増やす(全学年、説明する問題)				
理科	○乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている ▲発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現すること ⇒授業の際に、変える条件を1つだけにして、条件制御を意識した実験の計画を立てるようにする	○「課題を作成する」、「探究をふりかえる」こと▲資料を読みとり、求められている答えを選択すること⇒問題文を読み取り、題意を自分のことばに直すなど、問題文を要約する活動を取りいれるようにする				
児童生徒に対する 質問紙調査から	○「自分と違う意見について考えるのは楽 しいと思いますか」について、肯定的な 回答をする児童が多い ▲家庭での勉強や読書が少ない傾向があ る ⇒年間読書目標を立て、図書室の計画的利 用など、読書活動を増やす	○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」について、肯定的な回答をする生徒が多い ▲自分の考えを発表する機会では、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表することが低い傾向にある ⇒話し方、伝え方の指導に加えて、聞き方についても指導をし、自信をもって自分の考えを伝えられるような場を提供する				

町から

基礎・基本の定着を最優先にし、低学年からの積み重ねと系統性を意識した指導改善を進める。教員研修 を通して全職員の共通理解を図り、授業の質を高めていく。

反復学習(ワーク・小テスト)や理解度を丁寧に把握する取り組みを行い、子ども同士が対話し、協働して学びを深める授業づくりを進めていく。